

なぜ英語が話せないの

< 1 >

わが国の英語教育ほど実用性を欠いた学問も珍しい。「読む」「書き」に偏り「会話」軽視の傾向は、旧態依然のまま、その実態はテレビCMでも「何年やっても、モノにならない英語やな」と皮肉られるほど。国際化の波が身近に押し寄せている現在、英語教育のあり方を精査すべきとの言は年々、高まっています。

九州では、長崎、大分県下の公立高校のように入試にヒヤリングを導入した県もあるが、大学入試は大半が相変わらずの会話無視。英語は、入試や入社試験での単なる「記憶テストの道具」と化している。そこで、十七日から三日間、久留米市で開かれた「特別英語講習会」に出席した英語教育の第一人者、松本道弘氏と「百万人の英語」で有名な英国人作家、ラン・プース氏、田中睦・明香高校教諭に、英語教育が抱える諸問題、現状打開への方策などを話し合ってもらった。「なぜ英語が話せないの」シリーズ（毎週木曜日に掲載）では、「日の丸英語」の実態と問題点を洗い出し、英語教育改革への糸口を探る。



田中 睦氏

ある生きた英語をどう教えるか。研修会などへも出席して自己啓発につとめたいと思います。松本「読む」「書き」は出来るが「聞いたり」「話す」のは不得手——という人がいますが、納得できません。四つの能力は本来同じレベルのものだし、その意味でも入試英語や教科書が生きた英語に真結した内容を持つよう改善が必要で。一方、教師の方にも役に立つ英語への脱皮を目指し、意識改革が必要で、これらが一体となった文化革命が今ほど望まれている時期はありません。

入試にヒヤリングを 文部省や各大学は共通一次試験に——中学、高校、大学と英語学習の断絶をせよ、やっほしい。幸に多くの時間を費やすすわりに「英会話は全くダメ」という日本人が目立つわけですが、まず、それから、大分県も昭和四十一年から公立高校の入試にヒヤリングを

利益がなく、ひと廻りの会話に興味のある生か、職業上必要に迫られた会社員しかやらない。つまり入試英語こそが学生たちの英語への情熱を奪っている。空白に前置詞を入れるなど、技術的からすれば、大変な時間と努力の

入試にヒヤリングを 文部省や各大学は共通一次試験に——中学、高校、大学と英語学習の断絶をせよ、やっほしい。幸に多くの時間を費やすすわりに「英会話は全くダメ」という日本人が目立つわけですが、まず、それから、大分県も昭和四十一年から公立高校の入試にヒヤリングを

入試にヒヤリングを 文部省や各大学は共通一次試験に——中学、高校、大学と英語学習の断絶をせよ、やっほしい。幸に多くの時間を費やすすわりに「英会話は全くダメ」という日本人が目立つわけですが、まず、それから、大分県も昭和四十一年から公立高校の入試にヒヤリングを



松本 道弘氏

忘れられた「実用」

教師の質の向上も課題

なごばかりやられ、実用英語はさっぱり身につかない学生たちがかわいそうです。

浪費のよりに限りますが、なぜこんな状況がいつまでも続くのか。

日本という基本的な単語入、百五十語のうち、約〇割は英語に使う基本単語にも含まれていない単語です。入試英語や教科書は、作成に当たって、もつと英受験生のどんな能力をまよとすのか、首をひねりたくなる問題も多い。出題者の意識改革がない限り、事態は好転しないでしょう。

出題者のプロフィール 松本道弘氏(自) 大阪府豊中市生まれ。関西学院大学商学部卒。元NHK英会話テレビ講師。マネージメント開発研究所長「考える英語」「斬れる英語」など著書多数で、同時通訳でも活躍中。

いましよう。

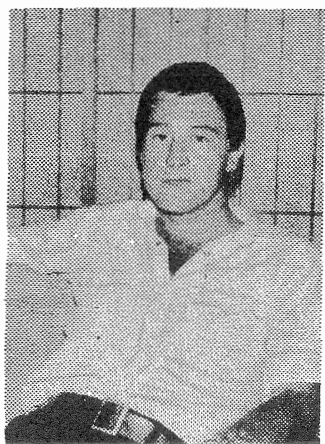
松本 最大のガンは入試英語です。入試にヒヤリングを出す学校は外語大などごく一部。「読む」「書き」ばかりが重視されて「聞く」「話す」の実用面が欠落すれば、英会話能力のない生徒や学生しか育たないのは当然です。

導入しており、英語教育改革への一石を、九州から投じてもらいたいですね。

田中 英語教師として恥ずかしい限りですが、現実には入試のため難しい単語暗記や受動態を能動的に要するなどの文法学習が中心になりがちです。楽しく生きた英語で

田中 睦(自) 佐賀県唐津郡千代田生まれ。北九州大学外国語学部英米科卒業後、明香高校教諭。大学時代、サンフランシスコに一年半滞在。英検一級合格。久留米英語講習会会員。

田中睦氏(自) 佐賀県唐津郡千代田生まれ。北九州大学外国語学部英米科卒業後、明香高校教諭。大学時代、サンフランシスコに一年半滞在。英検一級合格。久留米英語講習会会員。



アラン・プース氏

われわれ教師の側にも英会話を教えられるだけの質の向上が求められています。限られた授業時間の中で、生徒の入試を考えながら、少しでも有益で内容の

われわれ教師の側にも英会話を教えられるだけの質の向上が求められています。限られた授業時間の中で、生徒の入試を考えながら、少しでも有益で内容の